
ライダー × 仮面ライダー ダークキバViVid & DCD クウガ NOVEL 大戦 ALLRIDER

ベース

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

仮面ライダー×仮面ライダー ダークキバVivid&DCDク
ウガ NOVEL大戦ALL RIDER

【Nコード】

N4932Z

【作者名】

バース

【あらすじ】

風都、夢見町、ミッドチルダ、そして天ノ川学園高校に訪れた危機。
機。

仮面ライダーノヴァ率いる謎の組織『NOVA』の侵攻により、世界は再び恐怖に陥れられる。

自分の世界に帰還した小野寺ユウスケ／仮面ライダークウガと、本編から3年後：高校生となった登オトヤ／仮面ライダーダークキバは、世界の危機に再びオールライダーの下へ！

オーズライン、フォーゼマガカのライダー達も巻き込んだ『NO
VEL大戦』、開幕！！

序章 風都の危機

序章 風都の危機

風都 某所

「『ジョーカーエクストリーム……！』」

ここは風都……風の都と呼ばれる街であり、様々な都市伝説が行き交う不思議な街。

ここで日夜戦い続ける……2人で1人の仮面ライダーがいた。

その名は『W』……仮面ライダーダブルだ。

左翔太郎とフィリップの2つの魂を持つ仮面ライダーは、この街に侵攻してきた『悪』を打ちのめす為、変身して戦っていた。

敵の名は知らない……ただ攻めてきた、だから倒す。

「ったく……どうなつてんだこりや！？無茶苦茶な数だぜ！」

『ドーパントだけじゃ無く……ヤミーやゾディアーツまでいる……。興味深いが、今はそんな事言っている場合じゃなさそうだ……。』

ダブルの右側が言うとおり、敵の数は10や20なんて物じゃない。軽く100は超えているだろう。

いくらダブルがベテランの仮面ライダーだからと言っても、これでは霧が無い。

あともう1人ぐらい…人手が欲しいところだが……、

「こうなりや…エクストリームで一気に決めるか………？」

『！！ 危ない翔太郎！！』

「あ？」

ぶつぶつと1人ごとを言っているダブルに……後ろから怪人『カマキリヤミー』が襲いかかってきた。

突然の事にダブルはうまく反応する事が出来ず、とつさに身構えるのが精一杯。

だが……、

『ウェイク！アップ！！』

『ぐあつ！？』

「大丈夫か！！仮面ライダーダブル！！」

「お前は……！！」

その時、ダブルに迫るカマキリヤミーを……1人の仮面ライダーが蹴り飛ばした。

その際、辺りは夜の闇に包まれ、カマキリヤミーは『牙の紋章』と共にメダルへと還元される。

この仮面ライダーを、ダブルは知っている。

「助かった……礼を言っぜ？仮面ライダーキバ……ワタル！！」

「さあ行きましょう…仮面ライダーダブル…翔太朗さん！！フィリップ！！」

「ここから先へは行かせんぞ！！」

「通りたければ、俺たちを倒すんだな！！」

「風都を傷つける者は…この俺が許さん！！！！」

同じ様に風都のとある場所では…ダブルとキバ達が戦う怪人達の仲間が風都タワーを目指し、侵攻していた。

狙いは一つ…風都タワーに隠された、『ある物』を狙っているのだ。

この町の象徴である風都タワーを守るため、奴らの侵攻を防ごうと奮闘していたのは赤いライダー…仮面ライダーアクセル。

彼1人ではこの数を相手にする事は難しく、すぐに倒されてしまった。

だがそれを救ったのは2人の、赤と金の仮面ライダー。

「照井！！ここは俺とソウジに任せろ！！」

「俺達なら心配はいらない、俺もショウイチも…君よりはだいぶ大人だ。」

「感謝する…仮面ライダーアギト！仮面ライダーカブト！！さあ…振り切るぜ！！」

『トリアル！！』

「音撃打！！爆裂真紅の型！！」

「うええええええええええええい！！！！！」

「うおりゃあああああああ！！！！！」

これ以上の風都への侵攻を防ぐべく、響鬼、ブレイド、電王の3人は、風都という町の入口の前に立ちふさがり、迫りくる怪人たちの群れを切り倒していた。

こちらの数はダブルやアクセル達が戦っている数の比では無く、もはや数えるのすらバカバカしく思えてくる。

そんな中にもブレイド達は怯まずに突撃し、『サンダー』と音撃で周りの敵達を一掃。

とどめに電王がデンガッシャーを構えて10体程を纏めて切裂いた。

「へへへ……俺かつこいい〜」

「バカタロスかつこつけてる場合じゃないだろ！？」

「カズマさん！！良太郎さん！！来ます！！！」

龍騎とファイズの2人は、風都とはまた別の街……夢見町にて、怪人達と交戦中。

ここにも風都と同じように、彼らが狙う物が隠されているらしい。それが眠っているという『鴻上ファウンデーション』を目指す怪人

達を喰らい尽くすドラグレッダーに恐怖し、町中の人々は逃げ出し、それを狙っていた龍騎はこれで心置きなく戦えると『ソードベント』を発動。

ファイズの『ファイズエッジ』と共に怪人達へ斬りかかって行き、『っしやあ！！』と声を上げた。

「大丈夫ですかシンジさん！？」

「タクミ……ああ、大丈夫。それより……風都にいる皆は大丈夫なんだろうか……？」

「メモリ……メダル……そしてスイッチ……。一体、今度は何を企んでいるんでしょう……奴らは……？」

「『NOVA』か……。わからないけど、とにかくやるしかない！行こうタクミ……！」

「はい……！」

『エクシードチャージ』

『ファイナルベント』

「こんな事なら……ユウスケも連れてくるんだっただな……。」

「今更言っても遅いですよ土君、それよりも大樹さん、怪我は大丈夫ですか……？土君を庇った時の傷は……。」

「平気だよ夏メロンこのくらい……。」

天ノ川学園高校から約5キロ離れた場所で、大勢のマスカレイド達と戦うディケイド、キバール、そしてディエンド。

上空に見えるヘリコプターを睨みつけながら、ディケイドはカードを構えた。

それをディケイドライバーに装填するとすぐさまバツクルを閉じ、彼はその姿を変える。

『カメンライド ブレイド』

『フォームライド ブレイド ジャック』

ベルトの真ん中からカブト虫の紋章が刻まれたカード上のエネルギー『オリハルコンエレメント』が出現。

ディケイドはジャンプしてそれをくぐると、『仮面ライダーブレイド ジャックフォーム』へと姿を変え、ヘリコプターに向けてライドブツカーを振り下ろした。

しかしヘリコプターから現れた腕がライドブツカーを掴み取り、彼を地面まで叩き落とす。

堕ちて行くディケイドをキバーラとディエンドが受け止めると、ヘリコプターから現れた腕……仮面ライダーノヴァは、忌々しそうにディケイド達を睨みつけた。

「虫けらどもめ……我らの崇高なる目的を邪魔されては困るのだ……！」

「虫けらはどつちだ……！！あの学園のスイッチを狙っているんだろぅが……そうはさせねえぞ……！」

「どうか……？これを見たまえ。」

そう言うノヴァの手に握られていたのは1本のガイアメモリ。

風都タワーに眠っていた、『伝説のガイアメモリ』だ。

それを見たディケイド達は驚きの表情に変わり、ライドブツカーを地面に落としてしまった。

「馬鹿な……ワタル達が負ける筈がねえ!!」

「残念だったな仮面ライダー達。さあ、早いところスイッチを手に入れ、次はメダルの回収だ。」

「ま、待て!!」

追いかけるディケイド。

しかし傷ついた彼ではヘリコプターの速度に追いつけるはずが無く、ダンっ!!と地面を殴りつける。

メモリのライダー、ダブルがガイアメモリを守れなかった今、頼みの綱はメダルとスイッチの仮面ライダー……オーズとフォーゼだけだ。

敵の目的は知らない。

だが、この世界で彼らの存在を知ってしまった以上、絶対に止めなくてはいけない。

それがこの世界で、ディケイドのすべき事なのだ……。

せめてクウガがいれば……しかし、クウガはこの世界に来る少し前に『大事な用事』があるために自分の世界に帰って行った。

これは彼等、仮面ライダー達とクウガ、そして……成長したダークキバ達の物語である。

仮面ライダー×仮面ライダー　ダークキバVivid&DCDK
ウガ NOVEL大戦ALLRIDER

Next DCDKUGASide

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4932z/>

仮面ライダー×仮面ライダー ダークキバViVid&DCDクウガ NOVEL大戦ALLR

2011年12月16日21時47分発行